

拔萃

製鐵獎勵法並關係法規 (承前)

農商務省鑛山局調

(三) 一計畫ノ認可ヲ受ケタルモノニ付テハ計畫完成前計畫中ノ一部分竣工シ其ノ爐ヲ以テ作業ヲ開始シタル場合ト雖モ計畫全部完成シタル年即チ最後ニ竣工シタル爐ノ作業ヲ開始シタル年ヲ以テ開業又ハ能力增加ノ年ト看做シ其年ヨリ免稅年限ヲ計算ス

(四) 免稅ト其ノ他トヲ區分スルニハ大體爐ノ能力ノ按分ニ依ル但シ新規作業ノ爐ニ付テハ月割ヲ以テ計算スルモノトス
四 年額ヲ以テ記載スルモノハ歷年ト異リタル事業年度ノ定メアルモノト雖モ總テ一月ヨリ十二月ニ至ル歷年ヲ以テ計算スルモノトス又重量ヲ以テ計算スルモノハ總テ佛曠ニ依ルヘシ

免稅ヲ受ケサル鍛鑄鋼製品ノ收支ハ仕上作業ヲ施シタル製品ノ販賣價額ヨリ使用シタル素材(仕上機械ニ掛ケサル前モノ)ノ見積價額ヲ控除シタルモノヲ收入トシ仕上作業ノ經費ヲ支出トシテ其損益ヲ計算シ其ノ算出方法ヲ附記説明スヘシ
免稅ヲ受クル爐ト其ノ他ノ爐トアルトキハ能力及作業月數等ニ依リ按分シ其ノ算出ノ方法ヲ附記説明スヘシ
買入又ハ自己ノ經營スル他ノ製鐵所ヨリ移入シタル鋼塊若ハ鋼片ヲ以テ鋼材ヲ生産シタル場合ハ自製鋼ト買入鋼ノ原料使用數量ノ按分ニ依リ免稅ヲ受クルモノト其ノ他ノモノトヲ區分シ其ノ算出ノ方法ヲ附記説明スヘシ

八 製鐵作業明細表ハ十二月末日現在ニ依リ製銑爐製鋼爐ニ付テハ爐別ニ骸炭爐壓延機ニ付テハ種類ノ異ナル毎ニ區分其ノ算出ノ方法ヲ附記説明スヘシ
六 生產品販賣高ハ一月ヨリ十二月ニ至ル一年間ニ於テ實際販賣シタルモノト加工又ハ仕上作業等ヲ爲スタメ自己ノ經

營スル他ノ製鐵所ニ移出シタルモノ又ハ製鋼若ハ鋼材製造以外ニ使用シタルモノヲ區分記載スヘシ
品名ハ銑鐵、合金銑、鋼塊、鋼片、壓延鋼材、鍛鋼素材、鑄鋼素材、屑物、鑄鐵品合金品等ニ區分スヘシ

ト電氣爐坩堝爐（何番型又ハ何貫外若ハ何匠入坩堝何箇裝入ト備考ニ附記スルコト）等ノ呼稱別ヲ作業開始年月日ニハ始メテ出銑若ハ出鋼シタル日ヲ記載スヘシ。免稅ヲ受クルモノト其ノ他ノ區分ハ免又ハ非ノ記號ヲ以テ之ヲ區分スヘシ以下諸表亦同シ

九 工場其ノ他築造物明細表ハ十二月未日現在ニ依リ工場、事務所其ノ他ノ築造物ニ付記載スルモノトス製鐵所ト所在ヲ異ニスル會社本店ノ事務所骸炭木炭ノ製造所發電所等ニシテ製鐵業所屬ノモノニ付テハ其ノ所在地ヲ備考ニ記載スヘシ。名稱ハ製銑工場、製鋼工場、壓延工場、鍛鋼工場、鑄鋼工場、機械工場、骸炭工場、發電所事務所等ニ區分スヘシ固定資本、職工労働者數ノ總計ニシテ事業概況ノ部ノ數ト一致セサル場合ハ其ノ數及事由ヲ附記説明スヘシ

同一工場内ニ於テ免稅ヲ受クヘキ作業ト其ノ他ノ作業トヲ營ム場合ニ於テハ爐ノ能力、作業ノ分量等ヲ標準トシ適宜免稅ヲ受クルモノト其ノ他トニ配分シ其ノ算出ノ方法ヲ備考ニ附記スヘシ

固定資本額ハ土地家屋築造物及器具機械等ノ價額ヲ事業概況ノ部固定資本計算ト同一方法ニ依リ計算スルモノトス但シ土地其ノ他ノ物件ニシテ各工場ニ專屬セサルモノニ付テハ適宜配算スヘシ。建物賃貸價額ハ其ノ借入タルト自己ノ所有タルトヲ問ハス造作付家屋ヲ賃借シタル場合ニ於テハ貸主ニ支拂フヘキ一箇年分ノ借料ヲ計算記載スルモノトス（獎勵法ノ適用アルト否トヲ問ハス製鐵業ニ關聯シ生産シタル一切ノモノ）ニ付品名及種類ノ異ル毎ニ區分記載スル

モノトス

品名ハ銑鐵、合金銑、鋼塊、鋼片、壓延鋼材、鍛鋼素材、鑄鋼素材、鍛鋼製品、鑄鋼製品、特殊鋼材、副生物（種類別ニ區分ス）鑄鐵品、合金品等ニ區分スヘシ
種類ハ銑鐵ハ骸炭銑、木炭銑、再製銑等ニ合金銑ハ滿俺鐵鏡鐵、硅素鐵、硅素、滿俺鐵、タングステン鐵、クローム鐵等ニ壓延鋼材ハ條鋼、形鋼、鋸鋼、鋼管、軌條、軌條附屬品、線材等ニ鍛鋼品及鑄鋼品ハ重ナル種類別ニ、特殊鋼材ハ炭素鋼、高溫度鋼等ニ區分スヘシ

銑鐵、合金銑、鋼塊、鋼片、鍛鋼素材及鑄鋼素材ノ產額ハ原料ニ供シタルモノ販賣シタルモノ及翌年ヘ持越シタルモノ等其ノ年ニ於ケル生產高全部ヲ記載スルモノトス

十一 使用原料明細表ハ一月ヨリ十二月ニ至ル一年間ニ於テ製銑、製鋼、鋼材製造ノ原料ニ供シタルモノ及當該製鐵所ニ於テ使用シタル鐵礦滿俺礦其他ノ礦石、砂鐵、鐵滓、屑鐵、石炭、骸炭、石灰石、苦灰石、木炭、硅石、電極、電力、及銑鐵、合金銑、鋼塊、鋼片、鍛鋼素材、鑄鋼素材等ニ付各種類別ニ購入ト自營トニ區別シ且ツ產地及用途ノ異ル毎ニ區分記載スヘシ。產地國名ハ内地、朝鮮、支那、米國、英國、印度等ノ別鑛山名又ハ製造所名ハ主タルモノヲ掲クヘシ

用途ハ銑鐵ニ付テハ製鋼用、鑄鐵用等ニ石炭ニ付テハ骸炭製造用、瓦斯發生用、其他雜用等ニ區分シ其他ノモノニ付テハ之ニ準シ區分スヘシ且ツ鑄鐵、合金作業等獎勵法ノ適用ナキモノノ生産ニ使用シタルモノト雖モ記載スルモノトス

十二 事業報告書ハ正副二通ヲ提出スヘシ尙會社ニ在リテハ

其ノ年ニ於ケル事業年度ノ營業報告書、財產目錄、損益計算表、貸借對照表各一通、定款ノ改正アリタルトキハ改正定款一通添附スヘシ

八 船舶建造及修繕用物品承認規則

大正十年遞信省令第三一號改正大正十年遞信省令第三五號

第一條 大正十年勅令第二百三十九號及製業獎勵法施行令ノ定ムル管海官廳ノ承認ヲ受ケムトスル者ハ本令ニ依リ承認申請又ハ承認更正申請ヲ爲スヘシ

第二條 承認申請ハ船舶ノ建造又ハ修繕ヲ爲ス工場ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ之ヲ爲スヘシ

第三條 船舶建造用物品承認申請ニハ左ノ事項ヲ具備スルコトヲ要ス

(一)申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ事務所所在地(二)船舶ノ製造番號、種類、資格、總噸數及速力、(三)機關ノ種類、箇數及實馬力、(四)專任技術者ノ氏名、(五)船舶建造ノ爲使用スヘキ物品ノ種類及數量、(六)右物品中輸入稅ノ免除ヲ受クヘキ物品及獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量、(七)工場ノ名稱及位置、(八)起工及竣工ノ期日

前項ノ承認申請ニハ船體橫截面圖、船體中心線縱截面圖、各甲板平面圖、船體中心線縱截面ノ鐵鋼材構造配置圖、各甲板鐵鋼材構造配置圖、汽機圖、汽罐圖船體部用仕樣書及機關部用仕樣書各二通ヲ添附スヘシ但シ汽機又ハ汽罐ヲ製造セサルトキハ汽機圖又ハ汽罐圖及其ノ仕樣書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第四條 船舶修繕用物品承認申請ニハ左ノ事項ヲ具備スルコ

トヲ要ス

(一)申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ事務所所在地、(二)工場ノ名稱及位置、(三)專任技術者ノ氏名、(四)一定期間内ニ船舶修繕ノ爲使用スヘキ物品ノ種類及數量(五)右物品中輸入稅ノ免除ヲ受クヘキ物品及獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量

第五條 船舶建造用物品承認申請又ハ船舶修繕用物品承認申請ニ具備シタル事項又ハ添附シタル書類若ハ圖面ヲ變更セムトスルトキハ申請者ハ其ノ事由ヲ具シ承認更正申請ヲ當該管海官廳ニ爲スヘシ

第六條 承認更正申請カ營業ノ移轉其ノ他之ニ準スヘキ理由ニ依ル申請者ノ變更ヲ目的トスルトキハ承繼人之ヲ爲スヘシ

第七條 承認申請ニハ船舶建造竣工承認申請又ハ船舶修繕竣工承認申請ニハ左ノ事項ヲ具備スルコトヲ要ス

(一)申請者ノ氏名又ハ名稱、(二)工場ノ名稱、(三)船舶ノ製造番號又ハ名稱、(四)竣工ノ年月日

前項ノ承認申請ニハ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用シタル物品並其物品中輸入稅ノ免除ヲ受ケタル物品及獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量ヲ記載セル明細書ヲ添附スヘシ及數量ヲ記載スヘキモノニ付テハ之ヲ船體部用鐵鋼材、機關部用鐵鋼材、艤裝品、艤裝品部分品、機關及機關部分品ニ分チ各品名、種類、形狀、寸法、箇數、重量及用途ヲ明ニスヘシ。前項ノ記載ヲ爲ス場合ニ於テハ第六條第二項ニ規定セル明細書中獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ニ限り製造者ヲモ明ニスヘシ

第八條 管海官廳ハ必要アルトキハ承認申請又ハ承認更正申請ニ具備セル事項若ハ添附セル書類、圖面ノ補正ヲ命シ又ハ其ノ副本若ハ添附セル以外ノ書類、圖面ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第九條 管海官廳ハ承認申請又ハ承認更正申請ノ調査及工事

施行ノ監督ニ付管轄區域外ニ於テ爲スヲ必要トスル事項アトキハ他ノ管海官廳ニ之ヲ嘱託スルコトヲ得。前項ノ嘱託ヲ爲シタルトキハ管海官廳ハ申請者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ前項ノ場合ニ於テハ申請者カ受託事項ニ關シ其ノ爲スヘキ承認更正申請ハ受託管海官廳ヲ經由スヘシ

第十條 管海官廳ハ其ノ調査又ハ受託管海官廳ノ調査報告ニ依リ承認ヲ爲スヘキモノト認ムルトキ又ハ承認書ニ具備セル事項ノ變更ヲ必要ト認ムルトキハ申請者ニ承認書又ハ承認更正書ヲ交附スヘシ。承認書又ハ承認更正書ハ申請者ノ請求ニ因リ管海官廳ニ於テ必要アルヲ認メタルトキハ數通又ハ副本ノ交付ヲ爲スコトヲ得

第十一條 承認書ノ種類及之ニ具備スヘキ事項左ノ如シ

甲 船舶建造用物品承認書

(一)申請者ノ氏名又ハ名稱、(二)船舶ノ製造番號、(三)

船舶建造用物品承認書

船舶建造ノ爲使用スヘキ物品ノ種類及數量、(四)右物品

中輸入稅ノ免除ヲ受クヘキ物品及獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量、(五)工場ノ名稱及位置、(六)起工及竣工ノ期日

乙 船舶修繕用物品承認書

(一)申請者ノ氏名又ハ名稱、(二)工場ノ名稱及ヒ位置、(三)一定期間内ニ船舶修繕ノ爲使用スヘキ物品ノ種類及

數量、(四)右物品中輸入稅ノ免除ヲ受クヘキ物品及獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量

丙 船舶建造竣工承認書
(一)申請者ノ氏名又ハ名稱、(二)船舶ノ製造番號、(三)

船舶ノ件名、(四)工場ノ名稱、(五)竣工ノ年月日

丁 船舶修繕竣工承認書

(一)申請者ノ氏名又ハ名稱、(二)工場ノ名稱、(三)船舶

ノ名稱、(四)修繕ノ箇所、(五)竣工ノ年月日

前項ノ各承認書ニハ番號、年月日及管海官廳名ヲ明記シ其ノ官印ヲ押捺スヘシ

第十二條 船舶修繕用物品承認書ノ交付ヲ受ケタル者カ輸入

稅ノ免除ヲ受ケタル物品又ハ獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材

ヲ使用シテ船舶ノ修繕ニ著手セムトスル時ハ工場ノ名稱、

船舶ノ名稱、所有者及總噸數並修繕ノ箇所及著手日ヲ當該

管海官廳ニ届出ツヘシ其ノ届出事項ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

第十三條 承認書又ハ承認更正書カ毀損又ハ滅失シタルトキハ管海官廳ハ申請者ノ請求ニ因リ其ノ書換又ハ再交付ヲ爲

スコトヲ得

附 則

本令ハ大正十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

(大正十年遞信省令第三五號即主トシテ獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ニ關スル規定ハ同年七月二十日ヨリ施行)

九 船舶建造及修繕用物品承認規則ニ依ル取

扱方ニ關スル件 大正十年船第四二四號通牒

第一 申請届出ノ受理ニ關スルコト
一 申請書ヲ受理シタルトキハ船舶建造用物品承認申請書

ニハ「大正 年甲第 號」又船舶修繕用物品承認申請書ニハ「大正 年乙第 號」ナル受付番號ヲ

附シ又各其ノ後爲スヘキ承認更正申請書、竣工承認申請書及修繕届書ニモ同一番號ヲ附スヘシ

受託管海官廳ハ其ノ自廳ヲ經由スル承認更正申請書ニ假リニ「大正 年丙第 號」ナル受付番號ヲ附スヘシ

二 船舶修繕用物品承認申請ハ各工場毎ニ之ヲ爲サシムヘシ

第二 申請及届出ノ具備事項及添附書類ニ關スルコト

一 大正十年勅令第二百三十九號第一條第四號ニ依リ認許

セル物品ニ付テハ管船局ヨリ其ノ旨當該管海官廳ニ通知スヘシ

二 船舶建造及修繕用物品承認申請ノ具備事項中「船舶ノ

建造又ハ修繕ノ爲使用スヘキ物品ノ種類」ニ付テハ大正十年勅令第二百三十九號第一條ニ掲ケタル各種物品全部ニ付記載セシムヘシ

三 船舶建造及修繕用物品承認申請ノ具備事項中「輸入稅

ノ免除ヲ受クヘキ物品及獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量」ハ別ニ記載スル代リニ調査及承認上差支ナ

キ限リ「船舶ノ建造又ハ修繕ノ爲使用スヘキ物品ノ種類及數量」ヲ記載セル書類中ニ之ヲ明ニスヘキ記號ヲ附シテ表示セシムルコトヲ得

四 船舶建造用物品承認申請ノ具備事項中物品ノ種類及數量ハ其ノ建造工事ノ一部ヲ他ノ工場ニ委託シタルトキハ

其ノ委託工事ニ於テ使用スヘキ物品ト其ノ他ノ物品トヲ

分離シ別途ニ記載セシムヘシ

五 竣工承認申請ニ添附セル使用物品明細書ニハ前三號ヲ準用ス

六 船舶建造用物品承認申請ノ具備事項中「起工期日」ハ

承認ヲ受クヘキ物品ヲ使用シ初ムヘキ日又「竣工期日」ハ承認ヲ受クヘキ物品ヲ使用シ盡スヘキ日ヲ記載セシム

七 初メテ爲ス船舶修繕用物品承認申請ニハ其ノ工場ニ於テ前一箇年間ニ船舶修繕ノ爲使用シタル物品ノ種類及數量ヲ記載セル書類ヲモ添附セシムヘシ

八 大正十年勅令第二百三十九號又ハ製鐵業獎勵法施行令施行前建造ニ著手セル船舶ニ付キ船舶建造用物品承認申請ヲ爲ス場合ニ於テハ「船舶建造ノ爲使用スヘキ物品ノ種類及數量」ニハ既ニ使用済ノモノヲモ記載セシムヘシ

九 初メテ船舶修繕用物品ノ承認ヲ受ケタル工場ニ於テ其ノ承認前ヨリ修繕ニ著手セル船舶ニ輸入稅ノ免除ヲ受ケタル物品又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル鋼材ヲ使用セシムル場合ニ於テモ修繕届ヲ提出セシムヘシ

第三 申請及届出ノ調査並ニ承認書及承認更正書ノ交付ニ關スルコト

一 管海官廳ハ或事項ニ付調査及監督ノ囑託ヲ爲スニハ之ニ關スル必要書類ヲ送付シ且其ノ囑託後速ニ其ノ事由ヲ管船局ニ報告スヘシ尙囑託事項ノ結末ニ付テハ以下各項各號ニ依リ管船局ニ提出スル報告書中ニ其ノ要領ヲ明カニスヘシ

二 受託管海官廳ハ其ノ受託事項ニ付調査ノ都度囑託管海

官廳ニ其ノ承認及管船局ニ對スル報告ノ資料トシテ必要ナル書類圖面ヲ添ヘテ調査報告ヲ爲スヘシ

三 承認申請又ハ承認更正申請ノ具備事項又ハ添附書類中物品ノ種類及數量ニ付テハ其ノ調査及受託管海官廳ノ調査報告ニ基キ之ヲ適當ト認メタルトキハ別紙書式ニ依リ其ノ都度承認物品類別表、承認物品更正類別表又ハ使用物品類別表ヲ作成シ一件書類中ニ綴込ミ置クヘシ尙船舶修繕用物品ニ對スル承認期間内ノ使用物品ニ付作成スル第二回以後ノ使用物品類別表ニハ別紙書式ニ依リ使用物品累計類別表ヲモ作成添綴スヘシ

四 管海官廳ハ左ノ場合ニ於テハ豫メ調査報告書ヲ管船局ニ提出シ其ノ指揮ヲ受クヘシ

イ 船舶建造用物品承認書又ハ船舶修繕用物品承認書ノ交付ヲ爲サントスルトキ

ロ 船舶建造用物品承認書ノ具備事項中起工、竣工ノ期日若ハ物品ノ種類、數量ノ變更又ハ船舶修繕用物品承認書ノ具備事項中期間若ハ物品ノ種類、數量ノ變更ニ付承認更正書ヲ交付セムトスルトキ但シ變更ノ輕微ナル場合ヲ除ク

ハ 船舶建造竣工承認書ヲ交付セムトスルトキ

右調査報告書カ物品ノ種類及數量ヲ具備セル承認書又

ハ承認更正書ノ交付ニ關スルトキハ物品ノ種類及數量ヲ記載セル書類ノ副本及承認物品類別表又ハ承認物品更正類別表ノ寫各一通ヲ添附シ又船舶建造用物品承認書ノ交付ニ關スルトキハ其ノ外申請書ニ添附セル圖面及仕様書各一通ヲモ添附スヘシ

五 管海官廳ハ前號ニヨリ管船局ノ指揮ヲ受クルヲ要セサル場合ニ於テ承認更正書ヲ交付シタルトキハ更正事項ヲ

ニ管船局ニ報告スヘシ尙前段ノ場合ニ於テ更正事項カ物品ノ種類及數量ノ變更ニ關スルトキハ承認物品更正類別表ノ寫一通ヲ報告書ニ添附スヘシ

六 承認更正申請アリタルトキハ承認更正書ヲ交付セサリシ場合ニ於テモ更正事項ヲ速ニ管船局ニ報告スヘシ

六 承認書又ハ承認更正書ノ數箇ノ稅關ニ提出スル必要アルヲ認メタルトキハ一通ヲ限り交付スヘシ

第四 承認書及承認更正書作成ニ關スルコト

一 承認書及承認更正書ノ具備事項中物品ノ種類及數量ニ付テハ特ニ之ヲ記載スル代リニ申請者ヨリ提出セシメタル其ノ書類ノ副本ヲ用ユルコトヲ得

二 承認書及承認更正書ノ番號ハ申請書ニ付シタル受付番號ト同一ノモノヲ附記スヘシ

三 船舶建造竣工承認書ノ具備事項中「船舶ノ件名」ニ付テハ其ノ船舶ノ總噸數又ハ排水噸數、長、幅、深（國籍證書ニ掲クヘキモノ又ハ之ニ準スヘキモノ）並汽機ノ種

類及箇數ヲ記載スヘシ

四 承認書又ハ承認更正書ニハ「何稅關提出用」ト添記シ又其ノ「副本」ニハ副本ト添記スヘシ

第五 竣工承認申請ニ添附セル使用物品明細書ニ關スルコトヲ記載セル書類ノ副本及承認物品類別表又ハ承認物品更正類別表ノ寫各一通ヲ添附シ又船舶建造用物品承認書ノ交付ニ關スルトキハ其ノ外申請書ニ添附セル圖面及仕様書各一通ヲモ添附スヘシ

一 船舶建造竣工承認申請ニ添附セル使用物品明細書ノ調査ヲ了シタルトキハ其ノ副本ヲ調査報告書ニ添ヘテ管船局ニ提出シ其ノ指揮ヲ受ケタル後右明細書ノ使用物品中

輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ記載セル書類ヲ使用物品
貿易支局、共ニ税關ニ送付スヘン

二 船舶修繕竣工承認申請ニ添附セル 使用物品明細書ノ調査ノ記載書、直上右用細書、使用物品中餘入税ノ

査了了シタルトキハ直ニ右明細書ノ使用物品中輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ記載セル書類ヲ使用物品類別表寫

ト共ニ税關ニ送付シ管船局ヘハ右明細書ノ副本ヲ添ヘテ
調査報告書ヲ提出スヘシ

三 前二號ノ調査報告書ニハ使用物品明細書ノ副本ノ外尙右明細書ノ使用物品中獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ヲ記載セル書類一通、使用物品類別表寫二通及使用物品累計類別表寫一通ヲ添附スヘシ

(別紙書式)

第 表大正 年 月 日作成

船舶建造修繕類別表		憑信局海事部 出張所	
承認番號	大正年號	工場名稱及 位置	
船舶ノ製造番 號又ノ名稱	使用物品ノ 數量	委託工場ノ名 稱及位置	
鐵鋼材ノ種類	免稅物品ノ 數量	獎勵金交付物 品ノ數量	摘要
船體部用鐵鋼 材			
鋼塊及鋼片 條及管			
內 板 筒及管 機關部用鐵鋼 材			
鋼塊及鋼片 條及管 板			

備考
—「船舶建造物修繕類別表」中「建造修繕」ノ字ハ何レカ不用ノ分ヲ明瞭ニ抹消シ且空間ニハ、「承認物品」「承認更正物品」「使用物品」又ハ「使用品累計」ノ字ヲ可然插入スベシ

但シ「使用物品」及「使用物品累計」ハ朱字トス

二 各種物品ノ數量欄 = ハ鐵鋼材 = 在リテハ重量其ノ他ノ物品 = 在リテハ箇
目又スベシ承認物品更正表ノ數量欄 = ハ更正後ノ理在底認高ヲ又

使用物品累計類別表、数量欄二八當該承認期間開業後、使用物品高累計ヲ
記入スベシ

三 「摘要」欄 = ハ承認物品類別表 = 在リテハ更正事項ノ要領、委託工場アル場合 = 在リテハ委託事項ニ屬スル物品ヲ明ニシ又其ノ他参考トナルベキ事項ヲ記入スベシ

四 欄外「第 表」へ同一關係ノモノニ各種類表ヲ通シテ作成ノ順序ヲ
追ヒ表數ヲ記入スベシ

五、「船舶ノ製造番號又ハ名稱」欄ニハ修繕承認更正物品類別表及修繕使用物品票書類別表ニ在リテハ何等ノ記入ヲ爲サルモノトス

一〇 海軍艦船建造及修繕用鋼材使用證明規則

(大正十年海軍省令第十七號)

第一條 製鐵業獎勵法施行令第五條ノ四ニ依リ海軍艦船ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタル鋼材ニ付海軍官廳ノ鋼材使用證明書ノ下付ヲ受ケムトスル者ハ本則ニ依リ鋼材使用證明申請ヲ爲スヘシ

第二條 鋼材使用證明申請ハ其鋼材カ海軍工作廳ニ於ケル海軍艦船ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタル場合ニ在リテハ當該海軍工作廳長海軍工作廳ニ非サル場所ニ於テ海軍艦船ノ建造又ハ修繕ノ爲ニ使用セラレタル場合ニ在リテハ其工場所在地ニ駐在スル海軍造船監督官ニ之ヲ爲スヘシ

第三條 鋼材使用證明申請ヲ爲サムトスル者ハ製鐵業獎勵法施行令第五條ノ三第一項ノ届書ヲ農商務大臣ニ提出スルト同時ニ前條ノ申請ヲ爲スヘキ海軍工作廳長又ハ海軍造船監督官ニモ提出スヘシ

前項ノ届書ハ鋼材製造者其ノ鋼材ヲ海軍工作廳ニ非サル場所ニ於テ海軍艦船ノ建造又ハ修繕ヲ爲ス者ニ引渡ス場合ニ在リテハ其ノ引取人ト連署スルコトヲ要ス

第一項ノ届書ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ事項ヲ遲滯ナク海軍造船監督官ニ届出ツヘシ

第四條 前條ノ届書ニ記載シタル鋼材ヲ海軍工作廳ニ非サル場所ニ於テ海軍艦船ノ建造又ハ修繕ノ爲使用セントスル者ニ引渡シタルトキハ其ノ都度引取人ト連署ノ上其ノ種類、數量、用途、製造工場時期及引渡時期ヲ海軍造船監督官ニ届出ツヘシ

第五條 鋼材使用證明申請ハ左ノ事項ヲ具備シタル申請書ヲ提出シテ之ヲ爲スヘシ

(一) 申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ事務所所在地、

(二) 鋼材ヲ製造シタル工場ノ名稱及位置、(三) 鋼材ヲ使用シタル工場ノ名稱及位置、(四) 鋼材カ使用セラレタル艦船ノ名稱又ハ假稱呼、(五) 使用鋼材ノ種類、數量及用途、(六) 鋼材ノ製造者カ海軍艦船ノ建造又ハ修繕ヲ爲シタル場合ニ在リテハ鋼材使用ノ時期

第六條 第四條ノ届書及前條ノ申請書ニ記載スヘキ物品ノ種類及數量ニ付テハ其ノ名稱、鋼質、寸法、箇所、重量及用途ヲ明ニスヘシ

第七條 海軍工作廳長又ハ海軍造船監督官ハ必要アルトキハ申請書ニ具備セル事項ノ補正ヲ命スルコトヲ得

第八條 申請書ハ二通トシ申請者署名捺印スルコトヲ要ス

第九條 海軍工作廳長又ハ海軍造船監督官ハ申請書ヲ調査シ證明ヲ爲スヘキモノト認メタルトキハ申請書一通ノ末尾ニ證明ノ旨、番號及年月日ヲ記入シ署名捺印ノ上申請者ニ交付スヘシ

附 則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス(大正十年十月十日ヨリ施行)

一 奨勵金ノ交付ヲ受クル手續説明書

備考(一)内參照條文ニ於テ令トアルハ製鐵業獎勵法施行令、則トアルハ同施行規則、海トアルハ海軍艦船建造及修繕用鋼材使用證明規則トス

鋼材製造者カ獎勵金ノ交付ヲ受クルニ要スル手續ハ其ノ鋼材カ海軍艦船ニ使用セラル、場合ト海軍艦船以外ノ船舶ニ使用セラル、場合トニヨリテ異ナリ又鋼材使用者カ鋼材製造者ナル場合ト然ラサル場合トニヨリテ異ナリ左ニ各場合ニ付其ノ手續ヲ列記スヘシ

甲 鋼材カ海軍艦船ニ使用セラル、場合

イ 鋼材製造者自ラ鋼材ヲ使用スル場合

(一) 鋼材使用前ニ海軍艦船用鋼材豫定數量届(様式第一號甲ニ依ル)ヲ農商務大臣竝ニ鋼材使用工場所在地ニ駐在スル海軍造船監督官ニ提出スルコトヲ要ス(令第五條ノ三第一項、海第三條第一項)

右届書ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ツルコトヲ要ス(令第五條ノ三第一項、海第二條第三項)

(二) 前號ニ依リ届出タル鋼材カ海軍艦船ニ使用セラレタル場合ニハ其ノ鋼材ヲ使用シタル工場ノ所在地ニ駐在スル海軍造船監督官ニ鋼材使用證明申請書ヲ提出シ其ノ證明ヲ受ケ(海第二條第五條第九條)之ヲ添附シテ獎勵金交付申請書(様式第四號甲ニ依ル)ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(令第五條ノ四)

ロ 鋼材製造者其ノ鋼材ヲ他ノ造船者若ハ船舶修繕者ニ供給スル場合

(一) 鋼材引渡前ニ海軍艦船用鋼材豫定數量届(様式第一號甲ニ依ル)ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(令第五條ノ三第一項)

右届書ハ其ノ鋼材カ海軍工作廳ニ於テ使用セラル、

場合ニハ當該海軍工作廳長、其ノ他ノ造船工場ニ於テ使用セラル、場合ニハ其ノ工場所在地ニ駐在スル海軍造船監督官ニモ之ヲ提出スルコトヲ要ス

前項ノ届書ハ鋼材製造者其ノ鋼材ヲ海軍工作廳以外ノ造船者(又ハ船舶修繕者)ニ引渡ス場合ニハ引取

人ト連署スルコトヲ要ス(海第二條第三條第一項、第二項)

(二) 前號ニ依リ届出タル鋼材ヲ引渡シタルトキハ引取人ト連署ノ上鋼材引渡届(様式第三號ニ依ル)ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(則第五條ノ三)

右届書ハ鋼材ヲ海軍工作廳以外ノ造船者(又ハ船舶修繕者)ニ引渡シタルトキハ其ノ工場所在地ニ駐在スル海軍造船監督官ニモ之レヲ提出スルコトヲ要ス(海第四條)

(三) 海軍艦船用鋼材豫定數量届ニ依リ届出タル鋼材ヲ海軍艦船ニ使用セラレタル場合ニハ其ノ鋼材ヲ使用シタル海軍工作廳長又ハ鋼材使用工場所在地ニ駐在スル海軍造船監督官ニ鋼材使用證明申請書ヲ提出シ其ノ證明ヲ受ケ(第二條第五條、第九條)之レヲ添附シテ獎勵金交付申請書(様式第四號甲ニ依ル)ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(令第五條ノ四)

乙 鋼材カ海軍艦船以外ノ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラル、場合

イ 鋼材製造者自ラ使用スル場合

(一) 鋼材製造者ハ獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ヲ使用セムトスル船舶ニ付一隻毎ニ(修繕ノ場合ニアリテハ修繕用物品ノ承認申請ニ付テ一定ノ期間ヲ定メ其ノ期間毎ニ)豫メ船舶建造又ハ修繕用物品承認規

則(遞信省令)ニ依リテ船舶建造(又ハ修繕)用物品承認書ヲ受ケ該承認ニ關スル書面(様式第二號甲ニ依ル)ヲ添附ノ該書面ニ記載セル獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材中自己ノ製造ニ係ルモノニ付船舶用鋼材豫定數量届(様式第一號乙ニ依ル)ヲ鋼材使用前ニ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(令第五條ノ三第一項第二項、則第五條ノ三)

右書面ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ届出ツルコトヲ要ス、管海官廳ノ承認ヲ受ケタル事項中製鐵業獎勵法施行規則第五條ノ四ノ事項ニ變更アリタルトキハ其ノ事項ニ付管海官廳ノ更正承認書ヲ受ケ該更正承認ニ關スル書面(樣式第二號甲ニ準ス)ヲ添附スルコトヲ要ス(令第五條第三項、第四項)

(二) 前號ニ依リ届出タル鋼材ヲ使用シタル船舶ノ建造(又ハ修繕)カ了リタルトキハ管海官廳ノ竣工承認書ヲ受ケ該竣工承認申請ニ添附セル明細書ニ記載シタル獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ自己ノ製造ニ係ル鋼材ノ使用說明書(樣式第五號ニ依ル)ヲ右竣工承認書寫ト共ニ獎勵金交付申請書(樣式第四號乙ニ依ル)ニ添附シ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(令第五條ノ四、則第五條ノ四)

口
鋼材製造者其ノ製造ニ係ル鋼材ヲ他ノ造船者(又ハ船舶修繕者)ニ供給スル場合

(一) 鋼材製造者ハ造船者(又ハ船舶修繕者)ヨリ船舶建造(又ハ修繕)用品承認ニ關スル證明書(樣式第三

號乙ニ依ル)ヲ受ケ該書面ニ記載シタル獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材中自己ノ供給スヘキ部分ニ付造船用鋼材豫定數量届(樣式第一號乙ニ依ル)ヲ鋼材引渡前ニ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(令第五條ノ三第一項、第二項、則第五條ノ三)

右書面ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ農商務大臣ニ届出ツルコトヲ要ス、管海官廳ノ承認ニ關スル證明書ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ造船者(又ハ船舶修繕者)ヨリ更正承認ニ關スル證明書(樣式第二號乙ニ準ス)ヲ添附スルコトヲ要ス(令第五條ノ三第三項、第四項)

(二) 前號ニ依リ届出タル鋼材ヲ造船者(又ハ船舶修繕者)ニ引渡シタルトキハ鋼材引渡届(樣式第三項ニ依ル)ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(則第五條ノ二)

(三) 造船用鋼材豫定數量届ニ依リ届出タル鋼材ヲ使用シタル船舶ノ建造(又ハ修繕)カ了リタルトキハ造船者(又ハ船舶修繕者)ヨリ船舶建造(又ハ修繕)竣工承認書寫ヲ受ケ鋼材使用說明書(樣式第五號ニ依ル)ト共ニ獎勵金交付申請書(樣式第四號乙ニ依ル)ニ添附シ農商務大臣ニ提出スルコトヲ要ス(令五條ノ四、則第五條ノ五)

▼樣式第一號甲

海軍艦船用鋼材豫定數量屆

鋼材製造工場名

海軍艦船ニ使用ノ豫定ニ有之製鐵獎勵法施行令第五條ノ三ニ依リ此段及届出候也

年月日

鋼材製造者記名調印

農商務大臣宛

記

一、鋼材使用者

二、鋼材使用工場

三、鋼材ノ種類、數量、製造時期及用途（別記甲號書式ニ依ル）

▼様式第十號乙
船舶用鋼材豫定數量届

鋼材製造工場名

年月日

造船者（又ハ船舶修繕者）記名調印

鋼材製造者宛

記

一、造船者（又ハ船舶修繕者）

二、造船（又ハ修繕）工場

三、船舶ノ製造番號（修繕ノ場合ニハ不用）

四、右船舶ノ建造（又ハ一定期間ニ於ケル船舶ノ修繕）ニ使用スヘキ物品中獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量

量

五、起工期日及竣工期日（修繕ノ場合ニハ不用）

▼樣式第三號
鋼材引渡届

▼樣式第二號甲

記

年月日

鋼材製造者記名調印

造船者（又ハ船舶修繕者）記名調印

記

一、造船者（又ハ船舶修繕者）

二、造船（又ハ修繕）工場

三、船舶ノ製造番號（修繕ノ場合ニハ不用）

四、右船舶ノ建造（又ハ一定期間ニ於ケル船舶ノ修繕）ニ使用スヘキ物品中獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量

量

五、起工期日及竣工期日（修繕ノ場合ニハ不用）

▼樣式第三號
鋼材引渡届

管海官廳ノ承認ニ關スル書面

一、管海官廳ノ承認書（又ハ其ノ副本）別冊

二、右承認書中製鐵業獎勵法施行規則第五條ノ三ノ事項

（一）造船者（又ハ船舶修繕者）

（二）造船（又ハ修繕）工場

（三）船舶ノ製造番號（修繕ノ場合ニハ不用）

（四）右船舶ノ建造（又ハ一定期間ニ於ケル船舶ノ修繕）ニ使用スヘキ物品中獎勵金ノ公付ヲ受クヘキ鋼材ノ種類及數量

注意 管海官廳ノ承認書（又ハ其ノ副本）ハ審査済ノ上返付スルモノトス

材中左記ノ通リ引渡候條製鐵業獎勵法施行規則第五條ノ二ニ

依リ此段及届出候也

年月日 引渡人 記名調印
引取人 記名調印

農商務大臣宛
記

一、引渡ノ時期

二、鋼材種類、數量、製造時期及用途(別紙甲號書式ニ依ル)

備考 引渡時期ハ年月ヲ以テ示スベシ

▼様式第四號甲

獎勵金交付申請書

何年何月何日附海軍艦船用鋼材豫定數量届ヲ以テ届出(何年何月何月何日ヲ以テ變更届出)候鋼材中別紙ノ通リ使用セラレ候條獎勵金交付相成度海軍官憲ノ鋼材使用證明書相添ヘ製鐵業獎勵法施行令第五條ノ四ニ依リ此段及申請候也

年月日

農商務大臣宛
鋼材製造者記名調印

▼様式第四號乙

獎勵金交付申請書

何年何月何日附船舶用鋼材豫定數量届ヲ以テ届出(何年何月何日ヲ以テ變更届出)候鋼材別紙鋼材使用說明書ノ通リ使用セラレ候條獎勵金交付相成度管海官廳ノ竣工承認書寫相添ヘ製鐵業獎勵法施行令第五條ノ四及同施行規則第五條ノ四ニ依リ此段及申請候也

年月日

農商務大臣宛
鋼材製造者記名調印

▼様式第五號

鋼材使用説明書

何年何月何日附船舶用鋼材豫定數量届ヲ以テ届出(何年何月何日ヲ以テ變更届出)タル鋼材左記ノ通使用セラレ候

年月日 鋼材製造者記名調印

農商務大臣宛
記

一、鋼材製造工場

二、鋼材使用者及使用工場

三、建造シタル船舶ノ製造番號(修繕ノ場合ニハ修繕シタル船舶ノ名稱)

四、鋼材ノ種類、數量、使用期日(自フ使用シタル場合)又ハ引渡時期(其ノ他ノ場合)、製造時期及用途(別記乙號書式ニ依ル)

▼甲號書式

鋼材ノ種類、數量、製造時期及用途表

名稱	鋼質	寸法	重量	製造		用	備
				數	量		

備
考

一、製造時期ハ年月ヲ以テ示スハシ
二、鍛造用鋼塊又ハ鋼片ニシテ其ノ製造者ニ於テ「打チ放シ」トシテ引渡スモノニ付テハ「打チ放シ」ノ名稱ハ重量、仕上ケノ引渡シ又ハ使用スルモノニ付テハ「打チ放シ」ノ重量及製品ノ名稱重量ヲ備考欄又ハ別紙ニ記載スヘシ

▼乙號書式

鋼材ノ種類、數量、使用時期(又ハ引渡時期)、 製造時期及用途表

備考

一、使用時期又ハ引渡時期並製造時期ハ凡テ以テ年月ヲ示スヘシ
二、設告用鋼塊又鋼片ニシテ口工ノ上連月ノモニシテ計一、四

量及製品ノ名稱、重量ヲ備考欄又ハ別紙ニ記載スヘシ

勞働能率の増進に就て (承前)

關口八重吉

第廿二圖は工場平面圖を示す本圖に於ては材料は凡て(A)より入り出來上りたる工作物は(B)より出づ而して工作物は各工程に於て順序正しく移動せらる斯くの如くなす時は勞働能率は第廿一圖に示す場合より増加する事明かなり。

第十三圖は他の工場の平面圖を示す此の場合に於ては(A)より工作物の材料を供給し(B)に於て製品を出す本圖に於ては一見工作物逆戻する感あれども順序正しく各機を經て行ふが故に労働能率減少に影響する所少なかるべし上記二つの中第廿二圖に示すものは恐らく規模比較的大なるものに適し、第廿三圖は小なる工場に應用して有効なるべし又場合に依りては各工程に要する工作機械を同種のもののみ一ヶ所に集め

完

く工作上の順序に依り機械の配置を行ふ時は所要馬力大なる機械を原動軸より比較的大なる距離に置くを要する事あり即ち第廿三圖に於て(D)を原動軸とし(C)を大なる馬力を要する機械とす然る時は上圖の配置は動力傳達上より見る時は不可なり故に斯くの如き時には(C)を特に單獨の電動機にて運轉し原動軸と關係を絶つを要する然る時は何等の不都合を生ぜずして労働能率を大ならしむるを得るなり。

工程を行ふ事を便利となす事あり之は工場の規模非常に大なる場合に適當なるべし。

上記機械の配置が労働能率に及ぼす影響は實地工場に於て往々経験する事項なりとす著者の友人が管理する工場に於て嘗て注文殺到し機械の不足を感じたる事あり故に所要臺數の機械の購入を計畫せり然るに種々調査の結果機械の配置が作品に對し不可なる事を發見し之が配置を改めたり然るに其結果同數の職工を使役し等數の機械に依り多量の製作品を得たり換言すれば工場の機械設備を増加せずして労働能率を大ならしむるを得たり。

工場に於ける製品同一の場合に於ては機械の配置は一度之を定めし上は變更するの必要なし然れども製作品變更する場合に於ては其の工作順序と機械との配置を能く調和せしめ成可く徒費時間を輕減するを要す本事項は機械製作工場よりも